

12-9-2

3 -

本一九一九年九月三日三時發可
電通市由

九六
日本電報

昔司令長官官事傳令了りあり
右に對し我が伊集院長官人深
其ノ厚意ヲ謝るる昔司令長官
ハ傳達ヲ依頼るるト共ニ其ノ厚意
ヲ本國政府ニ傳達するト答へ
る

(市由特別通信)

大正九年九月百三種認可

電通急電

九、二、日本電報

◎電通本社の臨時火災

(二日午前十一時長安寺の長所を)

臨時急電報

東京市の大震災及大火の被害
 京本社卜ノ通信ハ全ク不明トナレ
 カ聞ク及ニレハハ社ニ亦銀座街
 ノ大震災高樓ト共ニ倒潰シ先ニ水
 社長自ラ社員ヲ救ヒ通信ニ努力
 ト共ニ東京、横濱、中ノト各
 方面ノ機関ト共ニ災ノ詳報ニ努力
 シテリト傳ヘスル

(二日午後一時至三時)

大正九年九月三日 認可
電通社 意六

九二
日本電報

◎大段子救助船急改

(二日大段子の特報長所送也)

二日午前四時池上市長ヲ救メ方設市
會議員ハ急遽市會ヲ召集市會上
議事ニシテ會議ノ結果本午九時五分
大段子船崩壊ノ事第一回慰問
トシテ白米及梅干漬物等ニ百匁
ヲ積載シ横濱ニ出奔セシメタリ

(午後二時より 五時)

大正九年九月三日 三陸地方
電信急電之三

九月三日
日本電報

○高崎附近ノ取沙場

(二日高崎拜訪員)

東南ノ天ヲ遮ス大煙ニ年々ノ境則

区々ナルガ高崎地方ニ人伊豆大

島ノ大噴火ナリト取沙場ガレツツ

(二日午後三時下着)

○本所ノ深川ノ神田ノ下村
○本所ノ高崎五五ノ全急絶望

(二日長崎方面ノ電報)

二日午前六時迄ノ情報ニ上野

附近ノ全ク大火ニ包マレ上野運送

事務所ハボウガ一車内ノ電活線ヲ

引込テテ電報機ヲ居レリ全ク

(三)

大正九年九月三日

聖通電

日本電報

絶地帯歸り元々本所、深川、神田、
下志、日本橋、五区、ニシテ、
カ石川、色方、真火、燃り、
相考、
相考、
相考、

言午依之時十五

◎紅蓮ノ如ク、
信東平豊

東京方面大地震情况観察

×急行也、特以、
（鈴木記者）

軽井澤、
見、

東平、
如、
火、
天、
沖

南東、
包、
之、
秩、
父、
連、
山、
元

市、
猛、
火、
之、
包、
之、
辰、
ト、
其、
光、
景、
亦

岸、
口、
也、
快、
下、
言、
之、
言、
然、
之、
絶、
久

本報年九月三日種部

西通急五

日本電報

◎東京益々燃廣かる。

▽下谷ノ谷中一部ヲ残スノミ

二日大阪奔至急報

二日午前六時大阪運輸事務所ニ達シタル

報章ニ依レバ東京市ハ下谷区ノ谷中ノ一

部ヲ残スノ外尚盛ニ燃ヘツツアリ震動

ハ尚西三日間継続スベシト云ハレ宮城モ

尚燃ヘツツアリ

(午後三時ニテカ着)

◎秩父連山大爆奔。

二日長野支局奔至急報

秩父連山ハ三十一日噴火ヲ為シタルカ一

日正午ニ至リ俄然噴煙天ニ冲シ大爆奔

ヲ為シタリ。

(午後二時三十分着)

大正九年九月十三日
電報急電六

日本電報

◎東京全市鉄橋隊井落ス

交通全ク杜絶ス。

二日船橋無線電塔。

東京丸ノ内宮城ニ延燒シタル火元ハ三越
呉服店ナリト云フ火焰ハ今尚盛シニ燃ヘ
ツツアリ船橋無線電塔ヨリ帝都ノ情况
視察ニ出セルモ未ク歸ルセズシテ消息不
明トナル東京全部ノ鉄橋ハ殆ンド全部墜
落シ交通杜絶ノ有様ナリ特ニ深川本所ノ
両区ハ惨美目モ當テラス (午後二時四十分)

◎阪神ヨリ食料満載汽船出奔。

二日大阪至急報

大阪神戸方面ヨリ食料品ヲ満載セル汽船
数隻横浜港ニ向ケ出帆セリ
(午後二時五十分)

大正九年九月三十一日
豊通台急電

九、二、
日本電報

◎小豆川麴町ニ多少家屋残存

久通宮ノ慘狀ヲ報告

(二)長野支局(赤井)

越後赤倉温泉細川侯別邸ニ御滞
在中久通宮殿下ノ御許ニ東京市
ノ慘狀ヲ報告スベク久通宮家事
務官ハ自動車ニテ大宮迄出デ同地
ヨリ第百〇七號列車ニテ赤倉ニ
向ヘ其ノ談ニ依レバ小豆川麴町
附近ニ多少家屋ハ残存シ居ルノミニ
テ金帛ノ水道ハ水渴レ消防夫ハ其ノ
威力ヲ失ヒ家屋ハ焼クニ委セル外ナキ
状態ナリ

(三)

大正九年九月三十一日

伊豆

九月三十一日
日本電報

久南島家ハ幸ヒ無事ナリシガ今朝未
明東京ヲ奔シタルヨリ其ノ後狀態
ハ全ク不明ナリ尚ホ震源地ハ伊豆大
島ナリト傳ヘラル云々

(午後二時三十分)

◎金市死骸累々

(三日長野支局報)

東京全市ヲ包メル大火ハ風無キレガモ
燃ユルニ安セテ何時終熄スルトモ判ラ
ズ然カモ死骸累々トシテ到ル如ニ
山ヲ成シ其面ニ食ヲ搜ル状々モ
嗜スル人々ヲ見レバ宛然生地獄ノ
有様ナリ

(午後二時三十分)

大正十一年十月九日 陸軍省
電通右急九

九、本三 電報

① 海軍救助艦巡査

食糧ヲ滿載シテ向フ

(三日吳芥電)

二日吳海軍鎮守府ニテハ食糧ヲ

滿載セル艦船ヲ羅茨民救助ニ向ハ

シム

(午後一時四十分)